平成24年11月9日

各　位

会 社 名　ダブル・スコープ株式会社
代表者名　代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証マザーズ)
問合せ先　取締役 CFO 兼経営企画本部長
竹 居 邦 彦
(TEL 03－5436－7155)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年7月27日付で公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日~平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,538	1,148	1,151	1,073	75. 73
今回修正予想(B)	2,292	537	512	456	32. 19
増減額(B-A)	△1,246	△611	△639	△617	
増減率(%)	△35.2	△53.2	△55.5	△57.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	3,382	1,309	1,232	1,205	94.61

修正の理由

7月の「業績予想の修正に関するお知らせ」発表以降、当社の属するリチウムイオンバッテリー業界のマクロ環境は緩やかな下降局面が続いたものの、基本的な市場環境には大きな変動はございませんでした。また、当社の製品の市場での競争力、ポジショニング等についても大きな変動は無いものと分析しておりますが、顧客の集中に対するリスクが顕在化したことにより業績予想の修正に至りました。

売上については、中国において当社の売上の45.1%（2012年12月期第3四半期累計）を占める東莞市旭冉電子有限公司（販売代理店）の顧客は比較的企業規模が小さいため、市場の軟調局面において市場全体より大きな影響を受けた事が、修正の要因の一つとなりました。また、米国においては、A123社が本年8月に中国大手自動車部品会社からの資本参加を決定したものの、その後10月には米国大手自動車部品会社Johnson Controls社をスポンサーにchapter11（米国における破産手続）を開始したことにより受注が休止し、DowKokam社については、6月から出荷を開始しましたが、新興バッテリーメーカーでもあり生産立上げの遅延により受注の減少が発生しました。

利益についても、このような主要顧客からの受注減少に伴って減少することとなりました。

以上の様に、当社は生産能力の拡大を背景に、販売網の強化のため年初より代理店の追加、大手バッテリーメーカーへの商談の加速などの施策を継続してまいりましたが、その効果は一部分顕在化しているものの、本格的には次年度以降となる事もあり、業績の修正に至ったものであります。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以　上